

コロナ影響 年金免除・猶予者過去最多609万人

厚生労働省は28日、2020年度の国民年金保険料の納付状況を発表しました。新型コロナウイルスの感染拡大を受け、全額免除・猶予者は前年度比26万人増の609万人となり、基礎年金制度が導入された1986年度以降、最多となりました。納付率は同2.2ポイント増の71.5%となりまし

た。

コロナの影響で収入が急減した人を対象にした特例措置の導入で、保険料納付の免除・猶予を受ける人が増えたとみられます。

納付率は、納付対象月数に占める納付月数の割合。全額免除・猶予者は対象月数や納付月数に算入しないため、

納付率を下げる要因にはなりません。全額未納者は同10万人減の115万人となりました。

納付率を年代別に見ると、最高は55～59歳の78.9%、最低は25～29歳の59.5%。都道府県別では島根（83.3%）が最も高く、新潟（83.1%）、富山（82.4%）と続きます。最も低かったのは沖縄（61.1%）で、次いで大阪（64.1%）、東京（67.1%）などです。